

アンケート自由記載

自由記載欄に多数のご意見をいただき、ありがとうございます。予想以上に多数の方から詳細なご意見をいただきまして、一部の意見を抜粋するのではなく、全ての意見を掲載させていただくこととしました。(ただし、ある程度の要約や、個人特定につながる記載の修正はしました。)

PTAには、団体としてのPTAでなければならない活動も多々あり、学校生活において重要な役割を果たしています。今後もPTAが重要な役割を果たしてゆくためには、多くの方が負担に感じるPTAであるべきではなく、会員の皆様と共にPTAの運営について考えてゆきたいと思います。

*役員・委員経験の有無は、役員・委員経験のある方のみを対象にしたQ6に回答した方を経験あり、回答がない方を経験なしとして扱っています。役員・委員経験あり 249名、経験なし 118名、自由記載欄には、役員・委員経験あり 155名、経験なし 43名、合計 198名の方がご記入下さいました。

「役員・委員経験あり」

- 一度経験してみて、保護者との交流や子供たちの様子を見れたり、行事に協力できたことで得るものが多かった、保護者とワイワイ作業するのも楽しい。
- 総務や委員の負担を考えると、例年参加者集めに苦勞するスポーツ親睦は必要か疑問。学年部を2回経験し、立場による負担の差が異なり不公平感を感じた。
- 人が集まらない企画や行事を何度も募集するのは無駄なのでやめるべき。
- 働く女性が増えているのに、毎年の委員選出は負担が大きい。朝のパトロールは必要だが出勤前のバタバタ感が否定できない。年1回程度にしてほしい。地区愛護以外の活動は中止して、浮いたお金で警備員を雇うなどしてほしい。学年部の教材作成イベントも例年同じものを作成しているので、使いまわしたらよい。PTAに参加できない保護者からは、会費を多く徴収するなどもありかも。
- 以前、留守番できない子供を置いていけず、主人に仕事中に帰宅してもらったことあり。家庭内の雰囲気も悪くなった。
- 学校内のこと、子どもの様子が自分の目で見れるが、大変な部分もたくさんある。しかし、子どものためにきっちり役目を果たすことも大事。ママさんバレー、パパさんソフトは何度も募集しているので、別の競技に変更しても良いかも。
- 仕事が多すぎる。どんどん効率化してほしい。
- 毎年、4月になると憂鬱。いつノルマを達成するか、どの委員が負担が大きいかなど情報収集につかれる。どの活動も平日の午前中に時間を割かねばならず、押し付け合いの様子を見ると、ボランティア精神はほぼない状態。ノルマ達成のためにしているのに、ボランティアと言われることに違和感を感じる。芦屋のPTAが縮小されるのを聞き、こんな

に大規模でなくても良いと思う。

- 学年部のイベントは、初めての1年生や卒業を迎える6年生は多少イベントを行なう理由があるが、教材作成などは購入したらよい。ペットボトルのお茶を用意して話すだけで交流は出来る。今後、子どもの数が減り、共働きの家庭が増える中で、「PTA＝強制的・いやなもの」というイメージがあるままでは、非協力的な家庭が増えると活動を維持できなくなる。でもいざというときには組織維持は必要なので、スリム化が必要。
- 総務の負担が多すぎる。人数を増やす・活動内容を見直すことが必要。運動会も自分の子供の競技を見るなり、運営をしていて気の毒に思う。市内の他の小学校では、委員だけではなく保護者も何かの係に付き運営している。みんな運営できる PTA であればよいと思う。
- 共働きやシングルが増えている中、昭和的な発想で持続しているサービスは不要。気軽に参加したい方、協力しても良いと思う方のみで出来る範囲の活動とすべき。以前、PTCA の活動は無くても良いと提案したが、働いている人がやれる委員がなくなるから存続ということになった。旗振り・パトロールも各家庭が負担することで、業者に委託できるのではないかな。
- 細かすぎる委員会は不要。ベルマークやグリーンサポートはボランティアを募っても良いのでは。一つ一つの役が重すぎるので、気軽に参加できる内容にするべき。
- 子供 1 人につき 1 回という決まりがあるからやっているが、委員会などをくじ引きで決めることは、人によってはとても負担が大きい。くじで決まることがとても不安。スポーツ委員の経験があるが、マニュアルがないのに、未経験の母が集められて何もわからないまま大会を主催することがとても大変だった。SC のお手伝い、または誰がみてもわかるマニュアルを作成するなど変えていった方が良い。
- 委員中は学校のことや行事などいろいろ把握できるが、委員でないと情報が入ってこないことは問題だと思う。
- 総務はうわさで、週 5 の活動と聞き負担が大きい。やりたくない人・どうしても出来ない人がやっても、子供や学校のためという趣旨から外れるので、「子供や学校のために何かできることがあれば」と考えられる人がやればよいと思う。低学年で委員をやったのに、高学年で 2 巡目の状況があるのはどうかと思う。お便りの校正に時間がかかりすぎ。最低 3 回は集まる必要がある(起案、校正、印刷)。広報に関しては、写真や記事が得意な方を募集してやればどうか。保護者の交流という観点から、スポーツだけでなくフラワーアレンジや DIY など取り入れてはどうか。仕事していても参加しやすい活動量・デジタル化をすすめるとやっても良いと思う方が増えるかも。わざわざ講師を招いて講演するのではなく、保護者から得意なことがある方を募集するのも良い。
- 本当に必要な業務のみとして、昔からやっているからやっているは一切省いても良い。紙の削減のため、手紙や講演会はミマモルメと協力してデータ化したらどうか。PTA の活動をもっと気軽に空いた時間に出来るように、携帯を使って活動できるようなシステムが欲しい。PTA の通信費は不要。
- 子供のための PTA 活動で仕事を休むことが増えると、参加したい行事、参観などの日に休みが取れなかったり、かえって自分の子に可哀そうな思いをさせたことが何度もある。そのような中、家で PTA の仕事を持ち帰ると子供の相手もしてやれない。何のための PTA なのか、二度とやりたくない。
- くじ引きで、部の役決めをするのが負担。ボランティア的に手伝いに参加したくても気軽に参加できない。自分で、好きな委員会に所属出来てポイントが付くシステムがあればうれしいです。
- もっと、HP や Web などインターネットを活用するべき。昨年委員選出を経験したが、マニュアルが分かりにくく難しく

書きすぎ。毎年することはほぼ同じなのに、マニュアルがなかったので、何をやるかわからず大変だった。次年度につなげるために資料作成をすべき。

○PTA は、毎年決まったことを受け継いでいくのではなく、やれる年はやる。やりたい人がいない年はやらないという内容であって欲しい。子供のためになっていない業務が多く悲しい。学年部の全員委員会に所属することが本当に必要なのか疑問。

○学年部のイベントを 2 回しないといけない理由が知りたい。各委員の活動結果が知りたい→業間パトロールをして何が変わったのか。ベルマーク収集結果。業間パトロール・クリーンサポート・ベルマークはボランティアを集めているが、委員は何をしているのか知りたいし、必要か疑問。通信費は必要か。もっと、IT を活用してほしい。

○必要ない仕事が多すぎて、負担が大きくなる。とても仕事をしながらこなせる内容ではない。選考に関しては、一保護者が関わられるような個人情報ではない。扱い方も徹底されていない。

○総務と地区愛護の登校班以外はすべて不要。2 巡目は出ないようにしてほしい。例えば、1 巡目の人だけで回し、人手が足りないところは平日テントウムシスタッフで人手を賄うとかにしてほしい。

○PTA は任意参加であるという前提がなく、非常に息苦しい。我が家は共働きで、PTA に参加しようとする多大な負担が強いられ、子供に大きなしわ寄せがいく。脱退を考え、何人かに相談したところ、「そんなことをしたら、子供が特異な目で見られる」と言われた。PTA を簡素化してもらいたいし、ノルマではなく気楽にやってみたいという風であって欲しい。

○どの企画も大変で手間がかかることばかりだが、子供のことを考えるとどの企画も必要。

○広報誌やスポーツ大会はあったら楽しいものだが、一年かけてやるような仕事ではないと思う。

○PTA の愛護の仕事を引き受けたが、仕事の多さに驚いた。自分の子供をそっちのけで、PTA に取り組むのはおかしいと思う。学年のイベントも来るメンバーは大体一緒に無理にイベントを立ち上げているように思う。スポーツも委員は毎年変わるのに、参加メンバーは同じで、不手際があるとベテラン参加者から苦情があると聞いた。やりたい人が企画したらよい。義務でも回数でもなく、やりたい人がやりたいことを出来る時間にすれば良いと思う。

○子供が多い家庭は大変。ルールがあるから、3 回したが親 1 人につき 1 回なら必要以上にはやらないと思う。

○病気のため、PTA の委員ができない場合、免除の理由を手紙で保護者の方に承認を頂く必要があるか疑問。癌や難病を患っている場合、考慮してほしい。

○PTA の委員の種類により負担感や責任感に差がある。地区愛護は役職なしでも、仕事量も責任も重いのもうやりたくない。子供にとって必要なことを保護者全員で平等に負担してやりたい。旗振りに関しては、地域間で差があるように感じる。自然学校や修学旅行の様子は知りたいので、子供の様子がわかるイベントは存続してほしい。

○PTA 活動を通じて、人間関係が広がったり学校の様子を詳しく知ることができ有意義だった。しかし、参加者がほとんどいない保護者向け講習など存在意義に疑問を感じる活動も多い。もっと縮小されるべき。

○PTA 活動は、かゆいところに手が届く活動なのかと思う。伝統を重んじて時代錯誤なことをするのは無意味だし、変化を重視して奇をてらうのはナンセンス。前年度の委員が振り返りをして、次の世代に渡していけたら少しずつ良くなっていくのではないか。

- 学年部は、クラスから選出ではなく、学年全体で選出してほしい。2 巡目が出ないようにしてほしい。
- 学校に足が向かない方や親同士のつながりを持ちたい人にとっては 1 人の子に付き 1 回のルールは自然に受け入れるので良いシステムと思う。ただ、仕事をどうしても休めない職業の者にとっては、負荷が大きくなり迷惑がかかる。PTA はやると楽しい。
- ノルマクリアのため、立候補して委員をしたが、友達が出来て子供の様子もわかり楽しかった。配布物など Web で配信する時代と思う。印刷する日を決め、来られない人の精神的負担、来られる人の労力を考えると Web が良い。印刷代にかかる紙代や電気代で子供たちに教材を買ってほしい。教養人権部の必要性について疑問。ネットで情報過多なのに講座は不要かと思う、当市では強制的に同和教育について学ぶ必要はないと思う。現在は共働きの世帯が増えている。仕事の有無に関係なく、すべての保護者が平等に活躍できる PTA になればよいと思う。
- 委員になると平日に学校に行く必要があるが、仕事で欠席し迷惑をかけると思うとしんどい。以前委員をしているとき、仕事で休む人に文句を言っているのを見て、嫌だと思った。PTA の活動を否定的に捉えてしまう。
- 学年部のイベントは年 1 回でよい。委員決めの際の方法を検討した方がよい。皆の前で、免除理由を話すなどストレスが多い。クラスにも偏りがある。総務の業務が多い。週に何回も学校に行くのは負担なので、見直しが必要。選考の負担感も大きいので、気軽にできる感じがよい。
- 学年部は 2 回イベント開催する必要はない。子供のためになることを考えてやれたら良い。PTA はとても大切と思うが、不必要なことも多いと思う。平等じゃないといけないから不必要なイベントなど増やすなど意味がなく逆に PTA に不満を持つ原因になる。やりたい人がやり、やりたくない人は PTA 会費を上げるなどしても良いのでは。
- 総務の仕事が多いので省いて負担を減少する必要があると思う。学年部の給食試食会は楽しかった。2 年生の九九表の作成はなくても良いかも。
- 配布物やイベントの出欠の管理は Web 上で行えるようにすれば、委員の負担も減少すると思う。なくても良いイベントが多すぎると思う。
- 委員選出に関して、人には言えない家庭の事情があるが、免除の対象として見てもらえない。地域のつながりを大切にするあまり、不必要な行事や雑務が多すぎる。今の時代に合わない。世間では、ボランティアという考えなのに、強制という考えはおかしい。せめて一人につき、1 回にしてほしい。先生に対して負担になっている活動も多いと思う。
- PTA 活動はやりたい人がやればよいものにしてほしい。任意参加にしてほしい。今の委員選出は仕事をフルでしている人にとって辛いものがある。以前、委員を経験したが、ともしんどかった。もう 2 度としたくないと思った。こんなことまでしなくてもと思うこともたくさんあった。
- 毎年、参加人数が少ないにも関わらず、毎年同じような企画は中止しても良いと思う(委員にばかり負担になるので)。活動に年 3 回程度の緩いものにして欲しい。
- 仕事を持つ人の割合が年々増加する中で、PTA の仕事内容が変わっていない。他校との情報交換や PTA 活動費の負担を増やす代わりに民間業者を活用する(ガードマン、校内清掃)。アンケートや出欠希望はメールで。
- 生徒数が減少する中で今まで通りの活動内容をずるずる引きずる必要はない。子供の安全を守ることに注力し、保護者向けの講演会は平日の昼間に開催されても出席できないので廃止すべき。

- 子供の安全以外の PTA 活動はなしで良い。希望選択性を導入する代わりに、安全業務に人を増やすべき。
- 時間だけかかる内容の無い月 1 回の集まりが無駄だった。手紙やメールで十分。子供 1 人につき 1 回という決まりがあるなら、2 巡目が回ってこないで欲しい。
- 総会の時に資料を全て読み上げる必要はないと感じる。今の時代に合わない。全体的に昔からのやり方を何年も引き継いでいるだけで、合理的な方法ではないと感じることが多い。
- 引っ越してきて、親の負担の多さに驚いた。もう少し、活動を減らして負担を少なくしても良いと思う。学年部をすると、委員会にも所属しないといけないのがすごく負担に感じた。切り離してほしい。
- 委員をしていた時に、前年度と同じことをこなすというイメージだった。子供たちや保護者、学校活動の中で本当に必要だと思われることを残していくと負担感も変わるように思う。
- 子供たちでも出来るような比較的簡単なベルマークなどの作業は、子供たちに任せ、PTA は大人ならではの子供の安全を守るなどの役割を担うべきではないか。多彩な才能を持つ保護者が多いので、その特技を活かした活動が出来たら良いと思う。基本的にやりたい人がやる形で、活動ごとの募集にしてはどうか。
- 庭木の剪定は、専門の業者に依頼するでも良い。学年部のイベントの内、1 回は校内清掃にするなどしても良いと思う。夏休みのプールの見守りは、命に関わることなので、1 名は緊急時対応できる医療スタッフをおくべき。
- 役職がある人とそうでない人の業務量の差が激しすぎる。協力してくれる人とそうでない人の差が激しい。3 役でない人は、基本他人任せ。
- クラス内で委員選出をすると、片寄が出るので学年全体で選出してほしい。委員は全員が平等にする必要があるので、2 巡目は出るのは疑問に思う。他校は、2 月に選出するところもある。
- 参加人数が全校生徒から見るとわずかなのに、多くの PTA 会員、先生、地域の方が関わっているようなものはやめても良いと思う。一部の生徒のための活動について、PTA 委員や先生の労力を時間給にするととてもつものなものになると思う。
- 広報の活動に携わった際、誰に向けて何のために作っているのかわからなくなることあった。大きな予算と労力をかけてまで必要なのかと思った。現在の PTA は P と T の関係が希薄な感じがする。担任以外の先生は顔さえわからないこともあるので、広報誌に全先生の写真と名前を載せても良いと思う。
- 役に立ちたい、子供の教育に関わりたいとの気持ちはあるが、現在の平日ベースの活動ではやりようがない。また、広報のフォントに至るまでの細かい縛りが多すぎて疲弊してしまう。
- 子供の安全を守る。登下校のパトロールを充実させてほしい。
- 昔からのルールみたいなものに縛られて、本当に理不尽な思いや時間の無駄など感じるものがたくさんあった。今まで、アンケートや委員になって訴えても全く聞く耳を持ってもらえなかった。委員を経験した 1 年がトラウマになるほどしんどかった。子供のための活動ならよいが、それ以外の活動もたくさんある。学年部だけで十分なので、委員会をなくす方向が良い。選考は独立しないと負担が大きすぎるし、地区愛護も仕事が多すぎる。ベルマークは学年部で分担し、業間パトロールとクリーンサポ unnecessary。スポーツも unnecessary と思う。
- 参加人数が少ない割に委員の負担が大きい企画が多い。皆が喜んで参加できる企画以外は不要と思う。PTA は必

要と思うが現在のままでは負担が大きすぎる。もっと気軽なものにしてほしい。

○学年部の活動よりも委員活動が大変。負担の大きさが委員会によって差がある。

○学年部の委員活動は、ボランティアで可能。選考活動は単独にして欲しい。共働きが増えており、仕事している＝PTCAという考えもおかしい。必要な時に出来る人がしたらよい。活動内容を学校の必要とすることだけに絞り、見極める必要がある。もっと PTA の月 1 回の定例会をオープンにすべき。事前に伝えた内容の質問しか受けず、一方的に回答を聞くだけでは何も改善されないと思う。伝統のような無意味な活動ならやる必要を感じない。

○仕事を始めてからの PTA は負担でしかなかった。活動のために、パートの休みを入れたり、シフトの変更をし、精神的にもきつく感じた。また、子供 1 人につき 1 回と縛りがあるにも関わらず、クラスによってはもう一度しないといけないと聞くと不公平に感じる。学年部から委員会に派生するのをやめて欲しい。委員までの負担が多すぎる。

○子供の学校行事が楽しくなる手伝いが出来たので、やりがいを感じた。一緒に活動した方々とは仲良くなれて心の支えになっている。

○今の時代、バレーボールでつながる意味がわからない。一部の保護者しか参加しないようなら不要。クリーンサポートについては、清掃のために委員会を作る必要があったのか。学年ごとのイベントはクラスの保護者同士が顔を会わせることが出来るので良いと思う。

○総務の活動量が多すぎる。部長・副部長などの役職に就くと負担がかなり違う。もう少し気楽にできたらよい。委員会をすると先生や保護者との交流があり、学校のことや子供の様子を知ることができるので、やって良かったことはたくさんあった。負担が少なければたのしくやれる。

○地区愛護以外の活動は基本的に不要。

○選考委員は 1 家庭につき 1 回で良いと思う。学年部と委員会を掛け持ちするのはやめてほしい。

○学年部の委員会所属は負担が多かった。委員活動はくじで決まるので、自分に合っていない役になり落ち込んだ。

○登校班旗振りに関して、旗振りの場所が家から遠いため、子供が家を出るより早く家を出なければならなかった。しかも、自分の班の子供が通らないところなのに何故しないといけなにか疑問。選考委員の活動について、精神的にもきついため他の部と切り離して独立した部にして欲しい。委員会が一つ減ったのに、何故クリーンサポートを作ったのか疑問。仕事をしている人が多いのに、PTA の負担が大きい。

○地区愛護が担当していることは、子供の安全を守るために必要だと思う。学年部の教材作成は、毎年同じものを作っているため不要。高学年の各行事の報告会は必要か疑問。スポーツ親睦は好きな人だけで開催すれば良い。少人数だけがやりたいことを PTA 委員が担当する必要はない。

○当校の PTA はとてもしっかり活動していて良いと思う。昨今の事件があるため、下校時も地区ごとにまとまって帰るようにしてほしい。

○現在の体制は今の時代に合わない。無理やり PTA の仕事を増やしているのかと思うことも多い。以前いた教頭先生は、業間パトロールは不必要と言われていたし、クリーンサポも不必要と思う。スポーツ委員も、わが子を留守番させて他のお子さんの見守りをするのはおかしいと思う。子供のための PTA 活動なのに、自分の子に迷惑をかけて寂しい思いをさせているのは本当におかしいと思う。地区愛護の活動が多すぎる。各地区の仕事だけでも十分なのに、10

ポイントというルールを作っているが、愛護がしなくても良い仕事がたくさんあると思う。

- 子供たちの安全を守るパトロールや旗振りには皆で見守っているという抑止力になり、とても大事だと思うが、保護者や地域ボランティア、関学の学生で続けるのは無理があると思う。登下校の時間だけでも業者に委託してはどうか。委員のお茶代は不要だと思う。
- PTA ニュースは毎月発行でなくて良いと思う。学年部と専門部の仕事量の差が気になる。各部でも部長の負担が大きいため、部内での仕事量を平均的になるよう配慮が必要。今回、「PTA を退会可能」ということを書かれているが、自分の子供が学校に通っているのに PTA としてかかわらないでおうとされる人が今後出てくることにもややもした気持ちになった。
- 子供 1 人につき、1 回はするというルールに反対ではない。このルールがあっても良いと思う。業間パトロールは、学校内なので警備員も常駐しているのにやる意味を感じなかった。PTA は、出来ることならやりたくない活動ではあるが、やると子供のことや学校のことをいろいろ知ることが出来る。周囲の支えあつての学校活動だと感じる事が出来る。保護者同士の関係も出来るので、やって良かったと思う。ボランティア制にすると、人が集まらず成り立たない懸念がある。
- スポーツ委員は、短期間といえどもとても負担が大きかった。バレーボールを楽しみにされている方は、毎年同じメンバーなので参加者だけで開催したらよいと思う。
- 夫婦共働きの時代に活動内容がおかしい。子供が体調を崩したら、仕事を休まないといけなのに、PTA 活動のために仕事を休んで参加した。PTA は任意の団体であるが、やめた時の影響を考えたらやめることが出来ない。どんな影響があるかわからないから、現在加入している。
- OPTA はやりたい人がやったら良いと思う。6 年間、補欠で終わった人を不公平に感じてしまう。朝の旗振り、仕事があるため時間をやりくりするのが大変。毎回来ない人もいる。地区によって負担の差が大きいのもどうかと思う。皆が気持ちよく協力し合えるようになれば良い。
- 保護者の知識向上については、情報量が多い昨今不要かと思う。文教区で学生が多い分不審者情報も多いので、パトロールはありがたい活動だと思っている。委員については、向き不向きがあるので、強制にしなくても良いと思う。積極性がある人に任せることになる不公平という意見もあるが、感謝を伝える場を設けるなど何かメリットを持たせる仕組み作りが出来たら良いと思う。
- 仕事がクビになりそうなくらい支障が出た。決まりごとが多く、活動の制約が多すぎる。
- 総務メンバーはしっかり意見の言える人、志があつて骨のある人になって欲しい。総務がしっかりしていないと、PTA 会員が混乱する基になる。シングルの人や仕事があつて活動できない人に無理強いしてはいけないと思う。業間パトロールとベルマークは即刻中止してほしい。一人一役としていながら、ボランティア・スタッフ登録・パトロールと強制しすぎ。どこまで要求するのと思ってしまう。
- 委員会など他学年の方との交流できる場があれば、子供の今後の参考になる話を聞けるので是非委員活動に参加したい。
- 転校する前の学校でも委員をしてきたが、転入し、また 0 カウントで 3 回しなければならなくなった。負担感が多い。子供の人数に限らず、やりがいのある PTA 活動であるべきと思う。クラスからの選出ではなく、学年全体での選出にして欲しい。

- 全体的に、大事な活動とそうではない活動がどんどん増えて、今の PTA は定量オーバー気味。子供 1 人につき 1 役のはずなのに、子供の数が減る中で 2 巡目があるのは負担でしかない。保護者向け講演会、見学会、スポーツなど無理して人を集めている行事は不要。子供を留守番させて、PTA 活動をしていることもある。学校、子供のためなのに本末転倒だと思う。
- 学校と家庭が協力して、子供たちの安全を守ったり、学校活動のサポートを今後も続けていく必要はある。土日に開催される行事は習い事などで参加が難しくなっているのが現状ではないか。参加者が少ない行事は、夏祭りの方にもっと関わってもらったらどうか。
- 「1 児童につき 1 回は役員、委員を引き受けなければいけない」には大きく不満。女性の社会進出がうたわれる中、現状の PTA 活動の内容にはかなり不満がある。子供の安全を守る地区愛護の活動はそのまま、その他交流を深めるための活動などは任意で自由参加にすべき。
- 学年部の活動の際、校正の厳しさに驚いた。ボランティアなので、少しでも負担を減らせるところはカットしても良いと思う。時代と共に、変化していかなければならない。参加者は同じメンバーなので、全体的にスリム化をして欲しい。
- 学年部になった先に更に委員会があり、負担が倍に感じる。
- イベントが 0 になるのは寂しいが、学 P を 1 回に減らしても大丈夫かと思う。総務役員には有給で仕事してもらおうの考えても良いと思う。
- 学校に協力したい気持ちはあるので委員を通じて協力出来たら良いと思う。ただ、役によっては自分に不向きだと負担になると思う。清掃・パトロール関係も担当する委員会をまとめて安全のために必要な活動を強化するというだけでも良いと思う。
- 地区愛護の活動は大切だと感じるが、学校と PTA の役割分担は見直しが必要。登校班を決めるのは、個人情報の観点から学校が行うべき。学年部の活動は、あえて行事を作っていると思われて不要な活動でやりがいも感じない。ベルマーク作業は効率が悪すぎでかける手間に対するメリットが少ない。
- PTA 活動が、図書ボラやスタッフ登録のような希望者で任意のボランティア精神に基づいたものになれば良いと思う。働く女性が増える中で、平日の活動も負担であるし、夕方も大変だと思う。委員時に、責任感の強い方が多く、子供が病気で休んでいても PTA に来られる方々を見てきた。
- 「子供 1 人につき 1 回」というルールのため、仕方なくやっていた面はあるが、活動した結果として得るものはたくさんある。PTA も簡素化すると楽にはなるが、誰かにしわ寄せが行きそうな気がする。子供にしわ寄せがいかないで欲しい。PTA がなくなるマイナス面も示してほしい。学年の途中から簡素化を取り入れるのは不公平感が生じるので、次年度から取り入れるなどしてはどうか。不満が残らないようにしてほしい。
- やりたい人がやった方が良い人間関係や良い体制、良いものが作れるはず。
- 仕事をしている人の PTA の負担が大きい。
- 「しなくてはいけない」「させられている」という気持ちでいる人が増えていると思う。我が子やお友達のためにしていることを考えて欲しい。委員としての活動が難しい人は、何が出来るのか考えて欲しい。過ごしやすく安心していられるのは、頑張っている他の会員がいるおかげ。人任せにして欲しくない。

- 委員に立候補し、選出された方が仕事が決まったり、仕事で活動に参加できない方を何人か見てきた。条件が色々増えても昔と変わらず、不公平な部分が残っているのが現状。活動自体見直すべき。
- クラスに委員経験者が多いか少ないかによって 2 巡目が回ってくるのが毎年納得できない。学年全体から委員未経験の人を集めてそこから選出してほしい。高学年でやりたくないの低学年で立候補して委員になっているにもかかわらず、委員が 2 巡目まわってくるのはシステムがおかしいと思う。あと、どうしてもパトロールなど無断で休まれると子供たちの安全に関わってくるものは外部に委託も考えてもいいのではないかと思う(お金がかかっても)。何かあってからでは遅い。
- 学年部の活動は子供のためにできていると直に感じる事ができ、参加したいと感じることが多い。しかし、学年部の活動は平日が主なため、委員自体も引き受けられないし、お手伝いに参加することもできない。子供経由で家に持ち帰って出来る活動があってもいいのかなと思う。仕事をしている側、していない側と両方経験しているが、していない側では同じように子供を預かってもらっているのに仕事を理由に一切参加しないというのは不公平に感じる。一方、仕事をしている側としては、できる委員があまりにも限られている。協力したいが、平日は難しく、土日に頻繁に活動があり過ぎると子供との時間も持てないことがある。全体的に PTA の活動内容をもう少し適度なものにしてほしい。
- PTA 選出は、クラス単位ではなく学年単位で決めて欲しい。選出時期は予定を立てやすいので 2 学期後半が良い。
- やりたい人だけやればよい。人数が集まらないようなら、外部にお金を払ってやってもらったら良い。
- PTA と仕事を両立するため、PTA で有給を使い、子供の授業参観に行けないため本末転倒になっている。PTA で不要度の高い業務から減らし、各部会にももう少し権限を委譲できないものかと思う。ベルマークは、子供たちが出来るように変えられないか。PTCA やスポーツはプロジェクト化し、やりたい人だけが企画運営すればよい。元 PTA 総務が現在の運営に意見し、それに振り回されるのはいかがなものか。
- 総務の負担が重すぎる。活動日数が多い分、金銭的にも負担がかかっている。月額活動資金から総務への支給額を与えるのはどうか。
- 下校時の安全対策の強化をした方が良い。委員活動はより意味のあることをするべき。お便りの帯を作る時間や労力は無駄。
- 学年部の選出は学年全体に変えて欲しい。会議費は不要なので、他の意味あることに使ってほしい。人権・教養は部にしなくてよい。他校では、ベルマーク・スポーツ・美化を兼任にしているところもあるので取り入れても良い。スポーツ交流会、学年 PTA は参加者も少ないので不要。
- 学年部の仕事をしたときに、学年部の仕事以外に役が付いてくるのは負担が大きいと感じた。PTA は学校と子供と親をつなぐとても大事な活動と思うが、仕事をしている方が増えている中、体や仕事に支障をきたすほど熱心な活動はしんどい。細く長く続けていける内容にして欲しい。PTA ニュースに書いてあった「希望者は退会可能」は絶対よくないと思う。これまでのように、基本は全員参加型でどうしても無理な方は免除という形にしないと善良な方のモチベーションが下がると思う。
- PTA に参加することは、子供を知るうえで重要で子供と一体感も生まれるので、参加に大きな意味があると思う。特別なことがなくても価値があると思う。
- 今まで通りで良いけれど、必要ない活動を増やすことはやめて欲しい。学年部が委員所属も以前は無かったはずである。くじで幸・不幸分かれるので、部長・副部長に負担がかかるのはダメだと思う。もう少し、活動の幅を縮めて欲しい。

- 旗振りやパトロールは居住する地域によって内容に差があるので、各地域での状況を整理して見直してほしい。全員参加型とボランティアの地域があったり、自分の子供の通学路以外を担当する地区があったりする。
- 例年参加者を募ってもなかなか人が集まらないイベントや他の団体が行なうものと内容が同じような講習会があれば精査してやめても良いと思う。PTA の在り方を一気に大きく変えるのは難しいと思うので、少しずつやめて負担を減らしていくしかないように思う。
- 強制という感が強い。学年部に委員会を持つのは負担が大きい。委員会は全学年から希望者を募っても良いのでは。委員経験者でもやりたい人をどんどん募って頂きたい。総務会報告など毎月部会を開催せず、LINE や他の媒体で流したらよい。
- 学年部のイベントは、先生方や保護者からやって欲しいと思うもの以外は無理にしないでも良いと思う。
- 総務など負担が大きいことに不満。選考の仕事も総務の負担を知りながら、委員を選出しないといけない大変さがある。もっと負担を減らし、楽しく子供たちのための PTA 活動ができればよい。PTA ニュースも毎月でなくても良いと思う。
- ルール自体も問題があると思うが、固執した考えややり方の踏襲が目立つ現段階の運営では家庭での子供との時間や仕事を調整してまで委員になって疲弊したいと思わない。個々の事情を顧みないルールや進め方に問題があり、委員になりたい人を減らしている一因だと思う。今までのように、せっかく変化の兆しが見られても前年度までの総務役員の意見が強すぎたり、年度が変わった途端変化のために起こしてくれた行動がリセットされてしまったりすることがあった。学年部自体の組織としては存続が必要だと思うが、6 年生の活動は受験・進路のことを考え 2 学期中旬ころまでにするよう工夫しても良い。特に議題がないときは、オンラインでの情報共有のみにし、部会を開く必要はないと思う。学年部から委員を選出するので、実際の活動は 2 倍、3 倍の場合も少なくない。本当に子供が安全に通学できるような内容のみに再編し、子供たちに起こった問題に対し、窓口としてすぐに稼働できる体制に整備する必要がある。現在の状態は、子供たちの学校生活に問題が起こった時に取り組める余裕がないほどの業務量である。一部の委員のみで処理され、全会員どころか学年委員にも周知されていない事柄もあり、本末転倒と感じている。PTA を退会しても、安全に関したことは会員で独占するのではなく、通常のボランティア団体として会員以外も参加できるようにすれば、必要度の高い業務は会員数が減っても円滑に運営できると思う。
- 学年 PTA は、同学年やクラスの保護者同士で交流、親睦も深められる機会なので無くしてしまうのはもったいないと思う。しかし、教材作りに無理やり感があり、実際に子供たちの役に立っているという実感が少ない。茶話会や親睦会のような形にしても良い。
- 子供 1 人につき 1 回は委員をすることのために、部会があり、企画・行事が開催されているように感じる。家庭があまりにも学校に入りこんで、子供のためと言いながら本当にそうなのかと思う。大きな事故や事件があることに過剰に反応しているのではないか。クリーンサポは本来子供たちがすることであって、子供のできる範囲での清掃で十分であると思う。
- 学年部 3 役以外の人委員活動の兼任がとても負担に思った。委員会によって仕事量も大きく違うため、不公平感を感じやすくなるのではないかと思う。特に選考やスポーツは独立しても良いのではないかと思う。
- 転入してきた際、地域一丸となった手厚いパトロール体制に感心した。しかし、PTA 活動の軽減化が広まるご時世に昔ながらの濃厚な活動を継続するだけではなく、もう少し「出来る時に出来る人がやる」PTA 活動になれば良いと思う。活動を絞る際は、子供のための活動を優先し、保護者向けの行事を割愛していくべきだと思う。ベルマークについて

ては、子供たちに協力してもらえばよいと思う。

- 登校時の見守りなど地域の方々が子供たちのために様々な事をしているので、保護者として何もしないということは考えられない。地域の方々と協力して子供たちの生活や安全に直接つながる活動は今後も大切にしていくのが良いと思う。
- 以前、委員会や委員長を経験した。内容で改善したくても伝統や以前からの引継ぎなど話し合いで改善させてもらえず、前年度と同じことをすることが一番負担なく行えた。現状の PTA の活動内容であれば、子供のためとはいえ協力したいと思わない。負担が大きすぎる。本来の目的のために活動できる組織への改革をして欲しい。
- PTA では、とても楽しく参加することが出来た。これからも子供たちのために活動してほしい。ただ、総務役員の方々の活動量がどうしても多くなっているため、今後減らしたり他の委員に手伝ってもらい改善出来たら良い。実際、委員をしてみても目に見えないところの活動のおかげで、学校生活が楽しく成り立っていることを実感し PTA には感謝している。
- 子供たちの育成に関わることであることが望ましい。「共働き世帯」「個別事情」を抱える家族が無理なくできる活動を望んでいると思う。参加回数が多かったり、活動に参加できる人が負担になったりすることはそもそも活動が多すぎると思う。子供 1 人につき 1 回のルールであっても、負担にならない活動であれば不満もそれほどではないと思う。クリーンサポや掃除は毎日使用している子供たちで学校側が主としてすべきである。子供たちの安全をと子供が笑顔になるための活動に絞って欲しい。学校業務の請負的な活動は不要。
- 子供たちのためになっていると思う仕事が少なく数合わせのための不要な委員がほとんどだと思う。むしろ、委員活動のために子供を留守番させていることに嫌悪感を感じる。毎年同じメンバーしか参加しないスポーツ親睦会、業間パトは不要。また子供を留守番させたり、預けなければならない PTA 活動などいらない。
- 子供は通っているが、仕事でできない。だから、出来る人であるというのではなく、難しいならどの様な関わりなら可能なのかを考えて出来るだけ多くの目で子供たちを見守り協力しながら出来る PTA であって欲しい。PTA 活動をやりたくないという理由で退会されたご家庭の子供のために会員が平等に負担をすることが無いようにしていただきたい。
- 子供の数だけ委員をするより、全員 1 回が良いと思う。PTA を退会するのも、もちろん賛成だが退会した人の分まで仕事を引き受けるほど時間や余力はない。もっと気楽にできる委員活動であって欲しい。他校はフルタイムでも活動できている。最初は義務感から手を挙げてやってみたが、やってみたら楽しく知らないことも知れて良い経験になった。やりがいも感じた。
- PTA 活動が好きの方に担当していただきたい。広報誌の作成は一部のみに大きな負担がかかる。広報誌は不要と思う。平日の部会以外にもレイアウト、編集作業など週末に大きな時間が取られる。総務からの校正が何度も入り、膨大な作業になることもあり。委員はプロではないので、求め過ぎはだめ。広報誌と PTA ニュースの内容はほぼ同じ。
- フルタイムで総務役員をしっかりとこなす人もいる。仕事を理由にパトロールをしない人もいる。委員に選出されたのにほぼ出席せずに子供 1 人につき 1 回にカウントされるという不公平さが気になる。
- 転校してきたものにとっては、何らかの形で学校とかかわりあうことは情報交換の場となったり子供の会話につながるもので良いと思う。PTA ニュースと広報誌、登下校パトロールと下校時見守り隊など活動内容が同じようなものが多い。精査しても良いと思う。

○フルタイムの人が多いため、時間に余裕がある人がやればよい。校内の清掃は教職員だけではできないので、協力が必要である。保護者のスポーツ大会は2次・3次募集まで開催する意味がわからない。登下校の見守りは必要。PTAの在り方そのものを見直す時期だと思う。他校で広がり始めている「出来る人が出来る時にやる」ような形に大きく変えても良いと思う。現在の活動をスタッフ登録制にしてポイント制にすると負担が公平になるように出来たら不公平感は減らせると思う。

○ルールをクリアする以上のメリットがわからない。

○子供1人につき1回のルールのために仕事を常勤に出来なかった。子供のためと、ていの良いことを言って活動を増やしている。子供にとって絶対に欠かせないのは安全であり、安全に関しての手伝いであれば納得の上で働くことが出来る。皆、それぞれの考えや生活がある中で子供の参観以外でPTAの集まりで行く回数が増えるのはやめて欲しい。学年部の集まりは本当に無意味。ラインで報告してもらえば十分な内容だったので、考えて欲しい。スリム化を期待する。子供の思い出は学校行事で十分できると思う。家族の思い出も必要。人権など興味のある人はPTAで提供しなくても自ら学んでいる。一番思うことは、皆が嫌で負担に思うPTA委員が何故あるか疑問。他校と比べても、当校のPTA活動が一番大変だと思っている。子供の安全を守る旗振りやパトロールは必要だが、学Pの活動は1年に2回の決まりがあるために開催する側もやりたくないと思いながら保護者を集めることに不満だった。仕事をしている人には土曜日に参加できるようわざわざ仕事を作ったり、PTAのために有給を使ったりすることにとっても疑問を感じている。紙面の発行は全てメールにし、必要のない土日の親子行事やイベントもやめてPTA活動をする人に会費を渡してはどうか。ボランティアといいながら、その域を超えているために皆が遠ざかっているように感じている。そもそも仕事を休んでまでするべきことではない。共働きであれば、普段仕事をしているからこそ、土日は家族で過ごしたいと思うのに、PTAに時間を取られるのには納得いかない。

○OPTA委員の選出は、クラスごとではなく学年部から選出すべき。選考は委員活動を軽減・減免するなど必要と思う。

○現状に大きな不満はない。何かを変えるのはとても大変なので、現状維持となるのも仕方のないことだと思う。選考が大変。PTAに立候補したのに、顔合わせすると今後も仕事で来れないという方もいた。

○紙が多いので、メール配信、Web配信などが望ましい。一方、記録に残さない方が望ましいもののみ紙ベースが良いと思う。

○正社員だと有給が使用できるが、パートだと収入減となる。仕事をしていると月2~3回休みをもらうことにより、職場環境も悪くなることあり。1年生の保護者に関しては、PTA活動を通して小学校内部を知る機会として、手厚くしても良いと思う。4年生、6年生はのPTA活動は活発でも良いが、その他の学年活動については、あまり必要性を感じない。今までの習慣で行ってきた企画、活動が今本当に必要なのか再度検討をお願いしたい。

○適度な活動内容で保護者間同士のつながりができる。

○他校に比べてPTA活動の負担が大きすぎる。仕事をしている親が出来る活動にしていくべき。学校に対して力も弱く、PTAの責任と押し付けられることも多く疑問。個人情報についても全然管理できていないと思う。他校を見習うべき。

○OPTAに参加しないとわからないこともあるので、1人1回の制度は良いと思う。学年部を経験したが、とても楽しかった。集団登校の班を編成するのに2月が遅すぎる。新1年生の見積もりを現地区代表まで年内に伝えて、来年度の班編成に取り掛かり、その後に新班編成を見越して新地区代表と地区委員を決めたらどうか。2月に編成している今、地区委員の負担割合が不平等。

- 委員をやる前は、嫌だというのが本音だった。しかし、実際にしてみると、仕事をしているため時間の調整がとても大変だが、他の委員と協力して楽しく活動ができる。しかし、仕事内容が多いのも現実と思う。省略できるところは省略し、学校のために活動できれば良いと思う。紙媒体の省略から始めてはどうか。「ご案内と出欠」は紙でよいが、御礼や報告はPTA ニュースやホームページなどを活用すればよいと思う。
- 活動内容を簡素化できないかと思う。1人1回のノルマがあるために色々な部・委員会があるのでとってしまう。PTCA 以外は、平日午前中の活動を月に数回行っているの、働いている立場からすると参加しづらい。学校行事やPTA 活動で月に何回も休むことは難しい。共働き家庭が増えているので、簡素化してほしい。
- 経験してみて、思った以上にしがらみや伝統維持という圧力や、現状維持を求めてくるなど様々な圧力を受け、理不尽に思うことがあっても、自由に発言したり改革しにくい現状に嫌気がさした。PTA の「公平に分担する」という理想のために不必要に仕事が多かったり、子どものためと言えないような無意味な活動が多いのが不満。例えば、学年部の委員会は全ていらなと思う。スポーツ大会も一部の人がしか楽しめないため、やりたい人を募ってやりたい人だけで楽しめるようにすればよい。清掃サポートなどは学年部全体で分担して行えばよい。学年部のイベントも、本来はそれをきっかけに保護者間で交流するのが目的なのに、イベントがメインになって黙々と作業したり、準備に手間がかかっているのは本末転倒だと思う。
- 学年 PTA と各委員兼務が大変。特に代表や委員長となると負担が大きい。週に1~2回学校に行くことも多く、月1~2回に抑えられる活動内容にして欲しい。なお、PTA 活動を通じて他の保護者の方と交流が出来る点は良いと思う。
- 負担と感じる方が今の時代多数に感じる。時代に合った PTA の在り方を自由に考え、行動できる環境であると良いと思う。
- 委員はやりたくないが、ボランティアなどの形でいろんなお手伝いなら拘束感なくできると思う。学年で PTA を選出してほしい。専業主婦と仕事をされている方の負担の違いを感じる時もある。部長・副部長の負担が大きいので、何らかの配慮があればと思う。
- 児童数が多いとはいえ、PTA 委員数が多すぎる。委員数を減らし、清掃やパトロール登録など1家庭年何回と増やせばよい。学年イベントに参加した際、参加数も少なく必要を感じなかった。各学年ではなく全学年のイベントでも良いかと思う。親だけのイベントではなく、子供と一緒に参加するなどが良い。選考委員は他市で聞いたことがない。誰もやりたくない役を残しておく意味がわからないので廃止にすべき。共働き家庭や様々な社会の変化に対応し、もっと参加しやすいPTA になったら良いと思う。子供の安全と活発な学校生活のために協力したい。パトロールがいろいろあり過ぎて分かりにくい。
- 子供1人につき1回というノルマを辞めて欲しい。学年部の委員はとても楽しく負担にならなかった。各種委員は別にしてほしい。人を集めてまでのバレーボールや講演会はあまり意味が無いと思う。本音を言えば、子供の安全を守る以外のPTA 活動は無くても良いと思う。今は共働きの家庭が多いので、PTA 活動はとても負担が大きいと思っている。けれど、できる人ができる範囲で活動できるPTA が一番良いと思う。
- 学年部の教材作成は不要。給食試食会は初めて小学校に入学する保護者にとっては、親睦を深めるいい機会になると思うが、委員決めからの準備期間も短く大変そう。上の子がいる保護者有志でやれば、前年度から準備が出来るのではないか。広報誌では、PTA 活動の一部しかお知らせできない。もっとすべての PTA 活動を周知できるしくみがあれば、より理解も深まるしイベント参加者やボランティアも増えるのではないか。ベルマークは作業時間や手間の割に効率が悪いと思う。

○「子供 1 人につき 1 回」はノルマではなく、そうあって欲しいという形だと思う。総務発行文書で「ノルマのクリア」という言葉を使うことで、本来ノルマでもないのに「ノルマなんだ」と思わせること、それによって「ノルマをクリアしていないあの人はずるい」という感情をより起こすことになると思う。PTA 活動の見直しをするのは良いと思うし、必要だと思うが一般論や思い込みではなく、当校 PTA 活動の全容を理解した上で進めてもらいたい。クレームや強い意見は声が大きく聞こえがちなので、PTA が保護者の団体として対等に存在するがゆえに子供たちを取り巻く環境の改善を市や学校などに対応してもらえるのであることも理解し、各会員に伝え理解いただくことも総務の活動であると思っている。先日の PTA ニュース、今回の手紙を見ていると、否定的な空気を広めているように感じ不安に思う。全保護者が活動量の濃淡はあるにしても、活動に協力できていくような方向に出来たらと思っている。

○学年部に所属した場合、三役以外の人は委員会に所属しなければならない。経験するまでは、こんなに負担が大きいとは思わなかった。学年部のくじをひいたなら学年部だけの活動にして欲しい。負担に感じると楽しく活動に取り組めない。負担の少ない PTA にして欲しい。

○PTA の子供 1 人につき 1 回というルール？はかなり負担。このルールのために仕事を辞めないといけないと考え、悩むときもある。現在の企画・行事など特に掃除系のは子供たちに任せても良いのではと思う。子供を預かってもらっている以上、親が手伝ったり子供と一緒に行事に参加するという考えもあるのかもしれないが、公立だし義務教育なわけで、それほど保護者が参加しなければならないのか。子供たちの安全を守る行事や企画は賛成だし、仕事の都合もつけやすい。

○昨今の社会情勢(共働き家庭の増加、少子化など)にかんがみて、PTA の活動内容や在り方について見直しが必要な部分も多いと思う。委員業務内容のスリム化や登下校時の見守り強化など。

○共働き家庭が増える中でボランティアという名の半強制的にしなくてはいけない PTA 活動は見直す必要があると思う。企画・行事・活動の取捨選択をして縮小すべきだと思う。

○学校や子供のために必要不可欠な活動は良いと思うが、それ以外のものはできるだけ減らしてほしい。例えば、イベントの企画・実行などは特に負担が大きいと思う。子供だけでも参加でき、参加人数も比較的多い餅つきや囲碁・将棋大会などは良いが、PTA 関係の家族くらいしか参加の無いウォークラリーなどは無くしても良いと思う。

○役員・委員を自ら進んでやりたい保護者は多くないと思うが、一度経験するとそれまで知らなかったところで色々な方が当校の子供たちのために動いてくださっていることがわかる。仕事を理由に一度も引き受けないのはとてももったいないということを周知するか、これまで通り、強制的にでも一度は経験するシステムにしておくか、いずれかが良いと思う。自分自身は、総務役員は負担が多いし、委員は個人としてやらねばならないことがあり両立は難しい。

「役員・委員経験なし」

- 子供の安全を守るのはとても良いこと。保護者が楽しく集まれる学年イベントは良かった。
- 総務の業務量軽減が、立候補希望増のポイントかなと思う。学年部内での委員会の業務量の差が大きい。
- 学校生活の中で一番気になるのは、登下校の安全面。地域の方の協力、保護者の協力は必ず必要。この部分では PTA なしでは考えられない。安全面にもっと強化をし、他の無駄は省くとよい。カゴパトロールをしている人を見たことが無いし、内容も理解している人が少ない。札作成に時間を割くなら、他のことをすべき。パパ・ママソフトは集まりも悪く、全く理解が出来ない。各クラス数名の PTA ではなく、ほぼ全員が 1 年 1 回限りの振り分けにしてほしい。6 年小連体もあまり意味がない。総務など重い役割には、報酬を支払えばいいと思う。月数万円報酬を出しているところもある。
- PTA の存在によって可能になることもたくさんある。学校行事が円滑に進められているのは PTA のおかげ。仕事をしている人はとてもじゃないが、参加しにくい現状がある。「子供1人につき1回」というルールも正直きつい。中途半端な活動で、PTA にも仕事にも迷惑をかけたくないというのが正直な気持ち。
- 本来は子供のための任意団体の PTA が単なる責務の負担となり、その押し付け合いや既にやった人からの同調圧力が保護者間の軋轢を生んでいるのを肌で感じている。「伝統」はやめるべき。「できる人ができることをできるときに」のボランティア精神が大原則だと思う。しかし、こうすることで「誰もやらなくなって絶対必要な活動も出来なくなる」のではという不安が出てくると思うが、実際他校で取り上げた学校では「嫌々やっている人がいなくなり、やりたい人だけでやると物事がスムーズに進むようになった」という結果があるとのこと。ほとんどの活動を日単位での参加募集として、委員・非委員の区別なく全保護者に向けてメールで募集、Web で参加登録できるようにすると参加へのハードルが低くなり、PTA 活動は活発になったとのこと。
- PTA 委員選考を行っているのに、全員参加型スタッフ登録を行う意味がわからない。委員で補うべき、もしくはその都度ボランティアを募るべき。
- 子供たちのためにやったら良いが、負担は避けるべき。
- 仕事もあり、委員活動もすることは負担。子供のための活動であるべきなのに、結果的に自分の子供や家庭に影響が出る。PTA 費を負担しても良いので、極力、外部委託できるものは委託したらどうか。
- やりたい人が出来る範囲で活動できる場であって欲しい。委員選考の際に、フルタイムで仕事をされている方に対しても過半数で免除が認められず、違和感を覚えた。
- PTA 全体について、男性の参加が増えればさらに元気な PTA になると思う。スポーツ大会について、当日気軽に集まってワイワイ楽しくスポーツができる場になると、もう少し参加者が増えると思う。
- 保護者の交流、リフレッシュも大切だが子供を預けてまで参加しようとは思わない。参加者が少なければ、希望者を学年の垣根なくグループ分けするなど臨機応変でよいのではないかと思う。
- 他校から転校してきたが、活動量の多さに大変驚いた。もっと簡素化、保護者の負担を減らすことはできると思う。共働き、祖父母も近くにいない家庭も多いため、時代のニーズに合った活動量を再考すべき。地域や地元団体の圧力があるのはわかるが、活動するのは保護者なので伝統を変えていく必要があると思う。

- 共働きの家庭も多い中、PTA 活動に参加することが負担になっている方も多いと思う。学校や地域との関わりも必要だが、少し活動内容の見直しをしても良いと思う。
- スポーツ大会は参加者が少ないのに実施する意義はあるか疑問。運営側の負担が大きいと思う。子供の人口が多かった時代の伝統やルールを引き継ぐだけでは、今の時代には負担感が増すと思う。地域の高齢の方は、時代に合ったやり方や小学生の親のニーズを考えることなく発言・行動されることが容易に想像できる。今を生きる子供とその親、教師にとって大切なことは何かを考えて、PTA の断捨離をするべきタイミングに来ていると思う。
- 囲碁・将棋大会はあっても良いが、興味を持つ子供はごく一部のような気がする。もう少し、幅広く参加できそうな競技だとなお良いと思う。PTA は無くてはならない存在だと思う。
- 今のところ、満足。
- 学校主催で、その都度ボランティアのお手伝い募集で可能な範囲くらいしか求めている。
- 活動内容が広報誌を見ても良く理解できず、自分に出来そうな役が全く分からない。子供のために活動することは良いと思うし、関わりたいが、いざ定例会が毎月平日の午前から昼過ぎまであり、多忙期は週 1 ペースでなると他の学校行事含めて有休で対応できると思えない。もっと省略化、効率化が必要と思う。
- PTA の活動について「できる人ができる範囲で」、集まりは「月 1 回程度」に改善してほしい。それで行事が極端に減っても構わない。共働きのため、現状の集まりでは家族のために働いているのに、家族の時間を奪われる存在でしかない。また、委員を決める際の「やらない理由を皆の前で話す」というのは言う方だけでなく聞く方もつらい(家族の病状など)ので、絶対に無くしてほしい。清掃などは地域のシニア団体に任せても良いと思う。
- PTA はあくまでも任意であるはずなのに、必ず子供 1 人につき 1 回役員・委員をするのは強制されている感じがする。あくまでも協力したいという保護者で成り立つものだと思うので、もう少し柔軟に対応してほしい。特に委員選考で辞退する理由を皆の前で言わされている姿はとても気の毒で、本当に必要な事かと感じた。あまり、気分の良いものではなかった。
- 給食試食会は楽しかった。また家での家族との時間を増やしたいので、学校行事での親子参加行事は無くても良いと思う。子供の発表する場にわざわざ親まで出る必要はあるのかと感じた。
- PTAのおかげで1年のすべての行事がスムーズにいつているので、感謝している。
- PTA は任意の活動のはずなのに、入学と同時に自然と加入していることに疑問を感じている。
- PTA の活動に参加したものは楽しかったり、勉強になるものもあった。しかし、参加人数が少ないものは毎年開催ではなくても良いと思う。「今までやってきたから」という理由だけでこだわらなくても良いと思う。
- 現在の PTA 活動について、不必要なことが多すぎると感じている。必要なものに絞れば、委員数も減り、委員をやりたい人だけで構成し、足りない部分はその都度有志を募る形にすれば、押し付け合いの PTA の現状が前向きで自発的な活動になると思う。PTA は子供のための組織なので、スポーツ大会は不要だし、平日昼間に実施される学年イベントの行事の出欠を不参加まで絶対提出とされることはいつも疑問を感じる。清掃は子供たちをしっかりさせればよいし、ベルマークも子供たちのためのものなので、子供の係にすればよいと思う。
- 共働き世帯が多くなっている現在、PTA をすることが困難な家庭が増えてきているなら、もっと仕事を減らしていくべ

きだと思う。人員も減らしていくべきと思う。

- PTA のたくさんの業務を行なうにあたり、委員になられた場合は、その前後にたくさんの準備の時間があると思うと本当に必要かと感じてしまう。夫婦ともフルタイムで働いており、休みも融通がききにくい状況であると、仮に委員になっても迷惑をかけてしまうことにとても心苦しくなる。されている方は良く参加され、できない方は全くできない状況であると思う。
- 親が関わらなくても問題がないような行事は省いても良いと思う。忙しい保護者が多い現代なので、元気な高齢者に願うするなど時代に合った活動が良いと思う。
- 昔からの根付いた伝統ややり方を重んじすぎて大変そうに感じる。事務的な作業も大変な噂しか聞かずマイナスイメージが強い。スポーツ大会について、子供を他人に見てもらってまで自分のスポーツに時間を使う必要はないと思う。子供優先に考えたい。今まで、子供見守り中に何か事故などなかったか心配になるし、見守り担当も荷が重く思う。
- 今後は、女性も男性も同じ条件で働く人が増えていくので、家族の過ごし方、子供の過ごし方も多様化していく中、行事や活動について縮小化すべく見直しが必要と思う。
- 人とコミュニケーションをとるのが苦手、人前で話すのが苦手なので委員はしてみたいと思わない。
- 本当に必要最低限のものだけに出来たらいいと思う。教材も毎年作らず、プリントにしまえば、簡単だと思うし、限られた人しか参加できない報告会も不要。それぞれの立場で必要・不必要があるかと思うが親のためのものは減らしていても良いと思う。子供のためになっていると思えば、頑張れると思う。各種パトロールも抑止力になっていないなら、不要かと思う。
- 皆ができる時にできる活動に参加すればよいと思う。
- 世の中にはPTA 活動に対して否定的な意見も多く聞かすが、当校PTA、地域の方々、地元団体など子供たちのために行ってきた活動がたくさんあると思う。その意味や必要性をもう一度考えたうえでさらに良い活動にするための見直しをするべき。無くすことは簡単だが、もう一度再開させることは大変難しいと思う。アンケートの回答は控えさせてもらう。正直、PTA ニュースといい今回のアンケートと言い少し不安に感じている。
- 出席頻度が多すぎる。ただ集まっているだけの活動もあると聞くとやる気がしない。働いている人も多い中、欠席者に対する態度も・・・と聞く。メールや電話を活用するとか、最初に明確に仕事の割り振りを決めるとか効率よくやって欲しい。
- 必要と考えるもの以外は、その都度募集のボランティアにして欲しい。
- 色々な家庭の事情がある中、子供 1 人につき 1 回役員・委員をしなければならないルールが負担に感じ、どうしても出来ないことに対して罪悪感を持っている。出来ない家庭の事情を話すのは、実はとても恥ずかしい。外部にPTAの負担を少し預けても良いと思う。
- 他校で取り入れているが、総会も書面で良いと思う。出来るだけ減らしてほしい。本来、任意なのに強制なところもつらい。生活に余裕が出来ればしても良いが、毎日しんどい中では辛い。
- 以前通っていた学校のPTAは、「やりたい人がやりたい時に参加するPTA」が主旨だった。基本的に会議は少なく、開催するときは土曜日。基本メールで連絡を取り合いPTA会長・副会長はフルタイムで働くママだった。

- PTA 選出の威圧的な文章で通知を出してしまう PTA で本当に有用な何かを成し遂げられるとは思えない。一人でも多く「やってみても良いかな」と思えるような柔らかな改善を期待する。
- 家庭ごとに親たちの在り方は多様化しているので、従来のように「ひとり親だから」「未就学児がいるから」というような基準では負担感を測れなくなっていると思う。そんな中、「全員強制加入・公平負担」は成立しにくいのではないか。
- スタッフ登録がいらぬ気がする。協力が必要な時にその都度、募集したら良いと思う。総務会の内容の連絡はメールなどで出来る時代なので、作業もないのに総務会後に必ず部会を開かなくても良いと思う。
- 仕事をしている人は活動のために休みを取得したり、早退したり調整が大変なので、PTA の活動をもっと減らしても良いと思う。どうしても PTA の委員を引き受けられない人は、活動費をいくらか負担することで免除されるシステムがあっても良いのではないか。